

NICUにおける時間外診療

—同一病院内的一般小児科との比較—

研究協力者 千葉 力

目的

同一病院内において、一般小児科と3次的新生児医療施設（広義のNICU）について、両部門の時間外診療の現状を比較して、診療に従事している医師を適正に派遣するための資料にする。

施設

青森市民病院

a) 一般小児科：届出病床数40床、看護婦16名、医師4名（専任3名、研修医1名）、研修医は3ヵ月交代で一般小児科とNICUを転棟して、1年間の研修期間中に、各部門2回づつで、各々合計6ヵ月間の研修を行う。

b) NICU：届出病床数20床、看護婦24名、医師2名（専任1名、研修医1名）、研修医は上記の通り3ヵ月交代で一般小児科と転棟する。

期間

1989年4月から1990年8月までの17ヵ月間

時間外診療の対象となる時間帯

①日曜日、②休日、③月から土曜日の20:00から07:00

集計方法

事務局へ提出された各医師の日毎の時間外診療報告書を集計した。

日当直

- a) 各医師は月平均約1回の病院全体の日当直があり、これは対象にしていない。
- b) 他科の医師が病院全体の日当直の時に、小児科の外来患者が来院した時には、一般小児科の医師が順番に交代で小児科内部の当番制を行っており、これは対象にしてある。
- c) NICUにおいては、市内の新生児搬送や院内の分娩立会も対象にしてある。

集計結果

a) 一般小児科（医師4名）とNICU（医師2名）とにおいて、17ヵ月間の時間外診療時間の合計、月平均、1名の医師の1ヵ月平均を表示した（表1）。1名の医師の1ヵ月平均で比較すると、NICUの医師は一般小児科の医師の2.61倍多かった。月別の両部門における合計の変化を図示した（図1）。

b) 一般小児科における、月別の1日平均患者数（入院、外来）の変化を図示した（図2）。17ヵ月間の平均は、入院32.9名、外来80.6名で

表1 一般小児科（医師4名）とNICU（医師2名）における時間外診療時間数
—17ヵ月間（1989.4～1990.8）

時間外診療時間	一般小児科	NICU
合計	1,827.42	2,381
月平均	107.5	140.1
医師1名の月平均	26.9	70.1

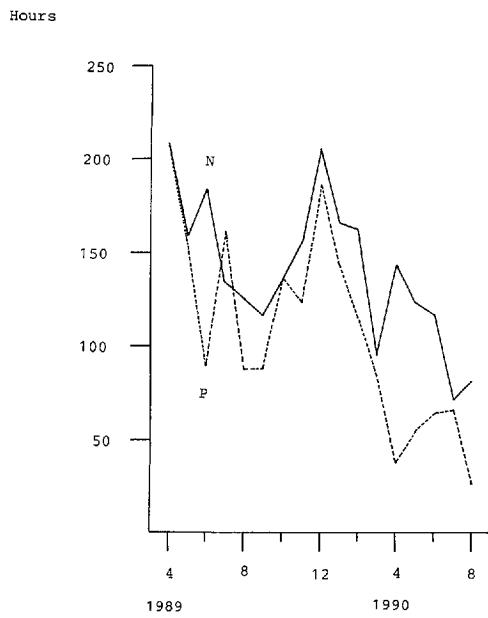


図1 一般小児科（医師4名）とNICU（医師2名）との、17ヵ月間における月別時間外診療時間数の変化

N: NICU P: 一般小児科

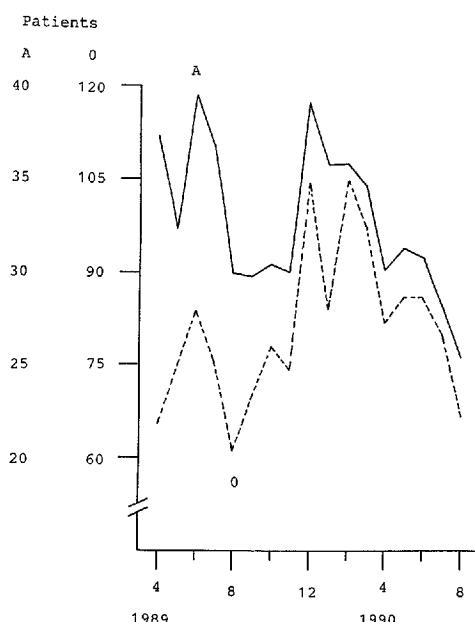


図2 一般小児科における、17ヵ月間の月別の1日平均患児数（入院、外来）の変化

A: 入院 O: 外来

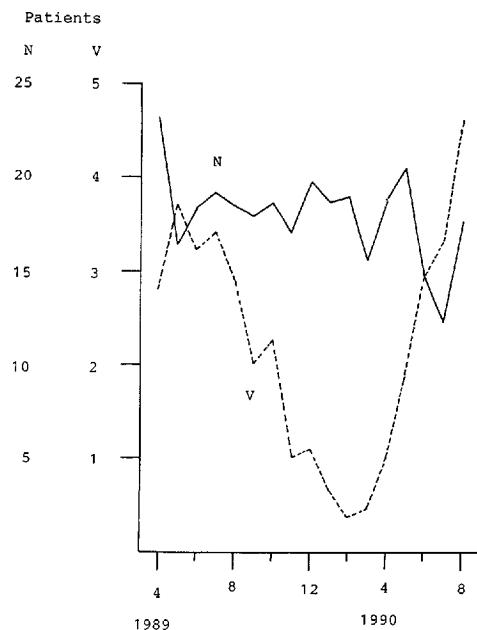


図3 NICUにおける、17ヵ月間の月別1日平均、入院患児数と人工換気症例数の変化

N: 入院 V: 人工換気

あった。

c) NICUにおける、月別の1日平均入院患児数と1日平均人工換気症例数の変化を図示した（図3）。17ヵ月間の平均は、入院18.0名、人工換気2.2名であった。

考 察

現在のNICUにおける医療内容が、一般小児科の医師に正しく理解されてはいないと考えられる。本集計においては、単に時間外診療の時間数のみが対象であった。しかし、現実のNICUにおいては、時間数では表現し得ない緊急性が高いことが、一般小児科との大きな相違といえる。以前の当NICUの2年間（1985年11月～1987年10月）の集計によれば、入院時刻による入院患児の割合で、夜勤帯（準夜と深夜）で42.1%であった。

結 論

同一病院内において、一般小児科とNICUとの、両部門の時間外診療時間数の集計結果か

ら、3次の新生児医療施設では一般小児科と比較して、より多くの（2.61倍）医師による時間外診療の時間数が認められた。それゆえに、NI

CUにおいては一般小児科におけるよりも、より多くの医師を必要とする。

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文書認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります ↓

目的

同一病院内において、一般小児科と3次的新生児医療施設(広義のNICU)とについて、両部門の時間外診療の現状を比較して、診療に従事している医師を適正に派遣するための資料にする。